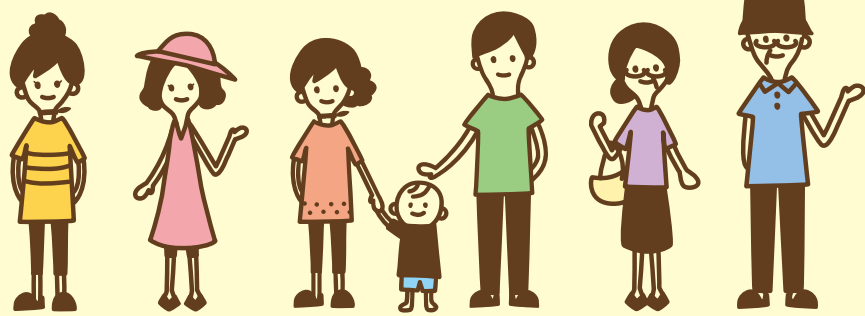


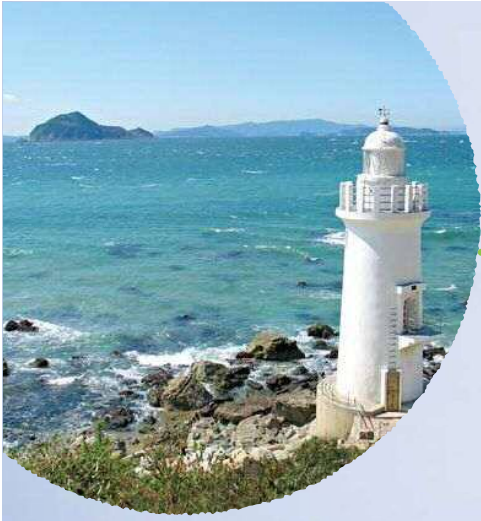


田原の にぎわい秘訣本

【改定】田原市観光基本計画 アクションプラン

みんなで
田原を盛りあげよう！





改定 田原市観光基本計画

田原市観光基本計画は、田原市における地域の特性を活かした観光立市を目指し、新たな視点に立った観光資源の開発、観光資源のネットワーク等による観光魅力度の向上、効果的な情報収集・発信手法等を含む観光振興のマスタープランであり、ここまでの実施状況を評価・効果測定し、また、急激な変化を続けている国内外の観光情勢や、観光客の動向を把握することで、時代の流れに即した新しい観光振興の指針を作ることを目的とするものです。

▶ 田原市が観光振興を推進する目的

観光産業は、今や総合産業と言われており、いわゆる宿泊、飲食、物販などの従来の観光産業だけにとどまらず、農業、水産業、商業、工業（加工業）、その他サービス産業も含めた総合的に地域の発展、雇用の創出にもつながる産業として期待されています。

また、観光振興による交流人口の増加がもたらす地域経済効果のみならず、田原の魅力伝えることにより定住につながる効果にも期待されることから、観光振興を積極的に推進します。

本冊子をお読みになるみなさまへ

アクションプランを推進するにあたっては、田原市が観光客にとってより魅力ある地域となり、観光先として選ばれるよう、市民、地域、団体、事業者、行政が一体となり、さらなる魅力の創出・観光のブランド化やPR、受入体制の充実等を進めていく必要があります。その観光の担い手となる皆様一人ひとりができることを実践していただき、地域一体となった総合力で田原市観光振興を推進していきましょう。

▶ アクションプランの実践

観光基本計画を具体的に実現していくためには、今の田原市の観光ニーズ、これからの田原市の観光ニーズを確実にとらえ、地域が一体となった“まるごと渥美半島”観光を推進していくための具体的な取り組みが必要であり、その実践の手引きとして本アクションプラン（実行計画）を策定しました。



アクションプラン



【改定】田原市観光基本計画

+ 6つの柱に対応するアクションプラン *

1 市民参加による観光まちづくりの推進

2 観光振興推進体制の確立

3 新たな視点に立った観光資源の発掘・開発・創造による観光魅力度の向上

○渥美半島まるごと観光

○女性マーケットへの魅力創造

○スポーツツーリズムの推進

○シルバーマーケットへの魅力創造

○学習観光、視察観光の推進

4 新たな観光マーケットを意識した情報発信・PR

5 観光客にやさしい・おもてなしのある受け入れ体制づくり

6 観光産業振興から総合産業振興への展開による地域活性化・雇用促進



観光交流人口拡大・地域の活性化

定住人口の増加



1

市民参加による 観光まちづくりの 推進



なぜ田原が市民参加による 観光まちづくりに取り組むのか

これからの観光まちづくりの推進にあたって必要なのは市民の力です。行政や観光事業者のみならず、農業・漁業・製造業・サービス業に携わる方々、また、様々な活動をされる市民団体や自主組織、そして市民一人ひとりの皆さんを含めて、一体となった観光客の受け入れ気運を高めていくことが必要となります。



観光まちづくりのために…



市民一人ひとりができるアクション

- 観光事業（イベント、ボランティア等）への参加
- 観光事業者等提案事業への提案



田原市アクションプラン

PLAN 1 観光おもてなし大学の実施（観光担い手人材育成）

実施年度
H27年度～

その道のトップランナー等を講師に招いて年間6回程度の講座を開催。

田原市観光おもてなし大学（主催：行政 参加：事業者、市民）

- 講師を招いての研修・ワークショップ
- ＜主なテーマ（例）＞ 年6回程度 ・観光のトレンドと先進事例 ・着地型旅行商品とは
- ・レポートを掴むおもてなしとは ・インバウンド観光の受入と取り組みについて 等

PLAN 2 田原市観光事業者等提案事業

実施年度
継続～

田原市内で事業を行う観光事業者や他事業者、または個人が連携し、田原市への観光誘客および観光PRの推進、観光客の利便向上、観光振興に係る活動などの提案事業を募集し、支援します。

田原市観光事業者等提案事業（支援（補助金）：行政 提案者：市民、事業者、団体等）



PLAN 3 出前観光教室の開催

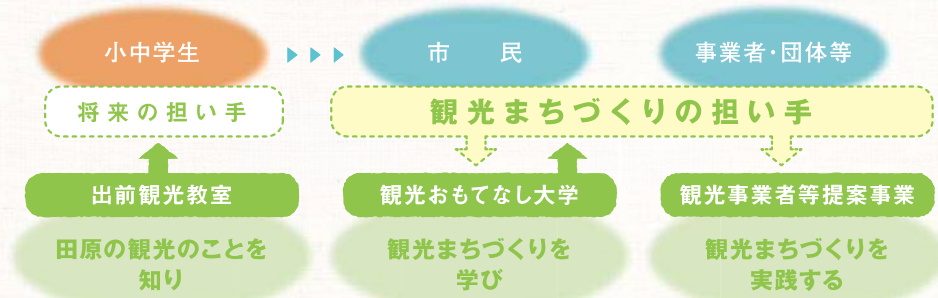
実施年度
H27年度～

市内の小学生、中学生を対象に田原市の観光への取り組みを知ってもらうことにより、田原市の観光への関心を高めるとともに、田原市への誇りの醸成等に繋がります。

出前観光教室の開催（行政、事業者等）



市民参加による 観光まちづくり



2

観光振興推進体制の確立



なぜ観光振興推進体制の確立が必要なのか

観光振興推進には、観光事業者、各種産業団体、市民、行政、観光ビューローなどが一体となった総合力による協働推進体制が求められます。ここに掲出したアクションプランを確実に推進していくための体制が必要となります。



観光振興推進体制の確立のために…



市民一人ひとりができるアクション

● 観光事業(イベント、ボランティア)への参加・提案



田原市アクションプラン

PLAN 1

まるごと渥美半島・観光まちづくりネットワークの形成

実施年度 H27年度～

行政と観光ビューローが中心となって、各関係機関、事業者、団体などが参画するネットワークを形成し、情報共有、意見交換を行い、田原市の観光振興を推進します。

まるごと渥美半島・観光まちづくりネットワークの形成(行政、渥美半島観光ビューロー、市内事業者、団体、市民)



アクションプランの実践

それぞれの立場で関わられる事業に携わり、オール渥美半島で取り組む“まるごと渥美半島”の推進



3

新たな視点に立った
観光資源の発掘・開発・創造に
よる観光魅力度の向上

1

渥美半島 まるごと観光 プロジェクト



田原の“誇り”と“自慢”
ブランド力を活かした

渥美半島 まるごと 観光



なぜ 「渥美半島まるごと 観光プロジェクト」に 取り組むのか

田原には、「農業」「花」「食」「水産業」「工業」など、全国有数の魅力ある観光資源がありながら、これらの連携が十分に出来ていません。全国一、あるいはオンリーワンの田原観光の強み・ブランド力(=価値)を活用し、連携による総合力を発揮させることが、田原の強みを活かせる重点マーケットへの観光魅力を充実することにつながり、田原への訪問・滞在の魅力はさらに高まるでしょう。



「渥美半島まるごと観光プロジェクト」で 観光客が増えたら

渥美半島全体での取り組みによって、滞在の魅力が高まり、日帰り観光から宿泊観光へとつながります。これによって「泊まる」「買う」「食べる」「体験する」などの観光消費額も高まり、地域への経済効果をもたらします。また、田原の強み・ブランドである「農」「花」などのPRによって産業振興へも貢献します。



「渥美半島まるごと観光プロジェクト」で 観光客を増やすには



まずは、地域が一体となって連携して総合力を高め、それによる観光プランを提供することです。田原のブランド力を発揮できるマーケットへの魅力を創出するとともに、シーズンに合わせたフェアやキャンペーンを開催するなど、メリハリをつけた効果的な情報発信も必要となります。



観光客を増やすために…



市民一人ひとりができるアクション

●周遊プラン、観光フェアへの参加と口コミ（市民として改めて渥美半島の魅力を再認識し情報発信）



田原市アクションプラン

PLAN 1

「渥美半島まるごと観光」による重点マーケットへのアプローチ

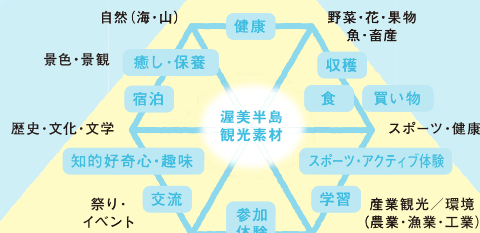
実施年度
H27年度～

田原の強みを活かした渥美半島全体の魅力をまとめ、重点マーケットに向けた田原ならではの魅力を創出するとともに、周遊プランの作成、受入環境等を充実します。



渥美半島まるごと観光プロジェクト

担い手の連携と総合力による周遊観光の魅力を創出



田原の強みを活かした重点マーケットへのアプローチ

女子旅
マーケット

シルバー
マーケット

スポーツ
マーケット

学習・視察
観光

インバウンド
外国人

滞在魅力の創出 / 周遊観光プラン提供 / 受入環境充実

市での総合的なガイドブックの作成

情報発信・効果的PR・営業活動



PLAN 2

「渥美半島まるごと観光」による総合イベント・フェア等の開催

実施年度
H28年度～

渥美半島、田原市全体で取り組める総合的なイベントやフェアなどを開催します。田原のブランドである「農」「花」「食」を活かしたフェアや、秋のウォークイベントなどを検討します。

毎年
5～6月

日本一の農業・花 どんぶり街道 貝つくし

春の渥美半島 農と花・食祭フェア

- どんぶり街道フェア開催 ●ベジエール渥美(野菜ソムリエ)の健康メニュー・料理教室
- 花狩り体験 ●道の駅まつり(産直強化) ●サンテバルク特別販売
- 春の花の半島での展開等

毎年
10～11月

海・山歩き まち歩き 食べ歩き

秋の渥美半島 まるごとウォーク



3

新たな視点に立った
観光資源の発掘・開発・創造に
よる観光魅力度の向上

2

女性
マーケットへの
魅力創造

*

増やせ
渥美半島
きらきら
女子旅!



? ?

なぜ田原が女子旅に
取り組むのか

今、女子旅がブームです。女子グループ、母娘、自由気ままな女子ひとり旅などが増えています。田原には、女子好みの恋のパワースポット、美味しいグルメ、癒しの自然風景、新鮮で安い野菜の買い物、気軽なハイキングコースなど、女子旅を迎え入れるには十分素材が揃っています。女子旅への田原の魅力が十分にPRできれば、田原は女子旅人気スポットに育っていくでしょう。



田原に女子旅が
増えたら

女子旅は、食べる・買うの消費行動が男性よりも高く、観光消費額の増加が期待できます。また、女性は男性よりも旅行回数も多いため、魅力が伝わればリピート客になることも期待できます。そして、女子のネットワーク力の口コミによる情報発信にも期待できます。



田原に女子旅を
増やすには

田原への女子旅を増やすには、今ある田原の観光資源を再整理し、魅力を女子に伝えることが大切です。特に、花や食などを活用した体験プログラムや女性が好むサービスや快適で綺麗な旅行空間を提供する旅行商品などをさらに創作し、磨くことによって、女子旅の増加が期待できます。



女子旅を増やすために…



市民一人ひとりができるアクション

●女子のみなさんが快適に気持ちよく田原市内をめぐるために、庭先の掃除や庭先への花の装飾。



田原市アクションプラン



PLAN 1 “花半島あつみ”魅力創造プロジェクト

実施年度
H27年度～

国内有数の花の産地であることを活かし、1年中花と触れ合える“花半島あつみ”を推進します。

“花”の体験プログラム創出(農園、JA等)

- 花狩り・花摘み体験
- フラワーアレンジメント教室等

花を活かした宿泊プランの企画・販売(宿泊施設、旅行会社等)

- 季節の花の宿泊プラン(花料理、花風呂、花のプレゼント等)

花をメインとする旅行商品化(旅行会社、観光ビューロー、宿泊施設等)

- “花半島あつみ”めぐり(桜・サンテバルク・菜の花・温室等)
- 花の宿泊プランを活用したツアー商品
(花狩り・花摘み+花の観賞+フラワーアレンジメント体験等)

“花半島あつみ”のイメージ展開・情報発信力強化(観光ビューロー、行政)

- “花半島あつみ”ブランドの情報発信・PR展開

PLAN 2 女子グルメ満喫「渥美スイーツ半島」プロジェクト

実施年度
H27年度～

地産地消の食材を活用した女子向けグルメ、いちご・メロンを活かしたスイーツ半島を展開します。

女子向けグルメメニューの開発(観光ビューロー、事業者、商工会等)

- 期間限定の渥美半島いちごスイーツ街道/メロンスイーツ街道の展開(各施設で特別メニューの提供、特別商品の販売等)
- 女子限定“どんぶり街道”メニューの開発
- ヘルシーメニューの開発



PLAN 3 女子旅“自分磨き”アクティブコースの創出と旅行商品化

実施年度
H27年度～

渥美半島の自然を活用したアクティブな女子をターゲットとする“自分磨き”コースを創出します。

アクティブ体験メニュー創出(観光ビューロー、まちづくり団体、行政等)

- 山ガール用トレッキングコースの選定→マップ作成
- パワースポットめぐりウォーキングコースの選定→マップ作成等
- カメラ女子フォトラリー
- フォトスポットラリー等

女子向けアクティブ宿泊プランの開発(宿泊施設、旅行会社等)

- ビーチヨガ体験プラン
- フラダンス教室
- カメラ教室つきプラン等

旅行商品化(旅行会社、観光ビューロー等)

- アクティブ体験、宿泊プランを活用した旅行商品化(田原アルプストレッキング+早朝ヨガ宿泊プラン+伊良湖周遊等)
(田原市内観光(まちなかウォーク・撮り旅)+カメラ教室+フォトラリー等)



PLAN 4 “恋が叶う恋旅半島”のイメージの確立と旅行商品の創出

実施年度
H27年度～

恋路ヶ浜、恋人の聖地、パワースポットなど“恋”をテーマにした旅行プランを創出します。

“恋旅半島”のイメージ確立・PR展開(観光ビューロー、観光事業者、行政等)

- “恋”をテーマにしたイメージ展開(ポスター、キャンペーン等)
- 渥美半島ならではの婚活イベントの開催・恋路ヶ浜で結婚式等
- 渥美半島ハートマーク探し(市内各所にハートマークの増設等)

カップル向け宿泊プランの開発(宿泊施設、旅行会社等)

- カップル向けランチ、ディナー、その他サービス等
- 結婚式向けプラン
(ご成婚・特別サービスの提供)等

田原市への定住促進(行政)

- 出会い→結婚→定住へ。定住向けの支援制度



3

新たな視点に立った
観光資源の発掘・開発・創造に
よる観光魅力度の向上

3

スポーツ ツーリズムの 推進

＊
。 渥美半島で
スポーツ
して旅を
楽しむ！
+
。



？ なぜ田原がスポーツツーリズムに 取り組むのか

2020年に東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定し、にわか
にわが国のスポーツへの関心が高まっています。現在、全国各地では、オ
リンピックのキャンプ誘致活動が行われているほか、キャンプ誘致を契
機としたスポーツ観光の推進を図ろうとする動きが出ています。田原市
でも「伊良湖トライアスロン」をはじめ、駅伝やサイクリング大会、また
サーフィンの世界大会など各種スポーツの大会が開催されています。渥
美半島の自然環境と温暖な気候は、スポーツツーリズムの適地でもあ
り、さらなる環境の整備によって、今後さらに伸びるマーケットであるこ
とは間違いありません。

田原にスポーツツーリズムの 観光客が増えたら

スポーツツーリズムの観光客が滞在することによる消費効
果が期待できます。特に、半島という地域特性から、先端の伊
良湖まで来るスポーツ観光客に宿泊してもらう仕掛けをする
ことによって、さらに消費効果は高まります。特に大会開催時
の宿泊効果は高く、重要な田原市観光の宿泊ニーズとなって
います。また、スポーツツーリズムの推進は、各種スポーツの合
宿誘致への展開にも期待され、団体客の数日間の合宿滞在に
よる観光への波及効果にも期待されます。

田原にスポーツツーリズムの 観光客を増やすには

田原でのスポーツツーリズムの観光客を増やすために
は、受入環境整備の推進と各種大会の開催・誘致、スポー
ツ観光都市としてのプロモーション活動が必要です。



スポーツツーリズムの観光客を増やすために…



市民一人ひとりができるアクション

- トライアスロンや駅伝など各種大会に関心を持ち、ボランティアとして参加する。
- サイクリングやマラソンなど市内各所を快適に走れるよう草刈りや環境整備に協力する。



田原市アクションプラン

PLAN 1

スポーツツーリズム受入環境(ハード・ソフト両面)の整備

実施年度
H27年度～

スポーツツーリズムで来訪される方が満足できる環境をハード、ソフト両面で整備します。

田原市の立地に合ったスポーツを素材とした体験コース、プログラムメニューの整理とガイドの作成(観光ビューロー、事業者、行政)

- サイクリングコース、サーフィンスポット、トレッキング・ウォーキングコース等の選定
- サーフィン教室の継続開催、マリトレジャーの可能性の検討

年間で楽しめるスポーツ情報の発信(ホームページ、パンフレット等)

スポーツツーリズム環境の整備(事業者、市民、行政等)

- グラウンド、ビーチ、サイクリングロード、トレッキングコースなどスポーツ実施場所の環境美化(草刈り等)
- サイクリングコース、トレッキングコースなどの休憩所・トイレの設置、看板マップ・誘導サイン等の充実
- サイクリスト向け沿道サービスの整備(サイクルラックの設置、故障車対応サービスなど)
- レンタサイクルの充実(電動自転車、タイプ別自転車等)
- 交通事業者との連携(鉄道、フェリー等)

イベント・大会開催時の受入連携体制の強化(観光ビューロー、事業者、市民、行政等)

- 地域(宿泊、飲食、物販)一体となった取り組みとともに、地域全体が潤う仕組みづくりの構築
- ボランティア協力体制の確立(充実)、市民協力おもてなし体制の構築(充実)

宿泊と連動したスポーツツーリズムプラン商品の開発(観光ビューロー、旅行会社等)



PLAN 2

スポーツ大会・イベントの継続開催・新規誘致

実施年度
H27年度～

既存のスポーツ大会・イベントの継続開催及び観光素材としての磨き上げと、渥美半島の立地の適性を踏まえた大会等を誘致します。

既存イベントの継続開催と新規大会誘致(行政、観光ビューロー、旅行会社、事業者等)

- トライアスロン、サイクリング、サーフィン等の継続開催
- 鉄道会社、旅行会社と連携したイベントの開催・誘致等

宿泊と連動したイベント開催(宿泊施設、観光ビューロー、旅行会社等)

- ツーデーウォーク、ツーデーサイクリングイベントの開催・誘致
- 渥美半島ロングトレイル・ウォークイベント(3泊4日など)の開催・誘致



PLAN 3

スポーツ合宿・オリンピック等、トップアスリートの誘致

実施年度
H27年度～

スポーツ合宿誘致の積極的展開とオリンピックキャンプ誘致を展開します。

スポーツ合宿誘致の展開・PR(行政、観光ビューロー、事業者等)

- スポーツ合宿対応スポーツ施設・宿泊施設情報の整理(調査及びマップ、Webサイト等の制作)
- スポーツ合宿における練習試合対応団体のコーディネート体制構築
- キャンプ(宿泊先)地の整備

オリンピックキャンプの誘致(行政等)

- トライアスロン競技のキャンプ誘致等



3

新たな視点に立った
観光資源の発掘・開発・創造に
よる観光魅力度の向上

4

シルバー
マーケットへの
魅力創造

＊
渥美半島で
のんびり
ゆったり
くつろぎ旅



なぜ田原がシルバー観光に 取り組むのか

超高齢化社会が到来し、今後最も有望な観光マーケットがシルバーマーケットです。田原には、美しい景観と自然、常春の温暖な気候、花や食や農業、トレッキングコースなど、シルバー層向けの魅力が豊富に備わっています。これらの魅力をさらに充実させ受入環境を充実することにより、シルバーマーケットへの積極的な観光客誘致を展開します。



田原にシルバーマーケットの 観光客が増えたら

シルバー層のさらなる誘客により、田原全体の観光客・宿泊客の長期的な底上げが期待できるとともに、三世代観光へとマーケットへの拡大もされます。また、日帰りや1泊旅行から、のんびりゆったり過ごす長期滞在を実現することにより、地域への消費経済効果へも大きく寄与することが期待されます。



田原にシルバーマーケットの 観光客を増やすには

今あるシルバーの嗜好に合う観光資源を再整理し、シルバー層が満喫できる滞在の魅力を伝えることが大切です。特に、元気なアクティブ派や、好奇心旺盛な多彩な趣味を持った趣味満喫派の期待に応えられる体験プログラムなども必要です。また、バリアフリー対応や二次交通の環境整備なども併せて必要です。



シルバーマーケットの観光客を増やすために…



市民一人ひとりができるアクション

- シルバー観光客のみなさんとの触れ合い
- 交流や道案内や休憩所の提供などの協力。



田原市アクションプラン

PLAN 1 シルバー向け体験プログラムメニューの創出

実施年度
H27年度～

シルバーのみなさんが田原の観光資源を満喫できる体験プログラムメニューを創出します。

アクティブ派シルバー向け体験プログラムメニュー創出(観光ビューロー、行政等)

- トレッキングコース、ウォーキングコースの選定→マップ作成、シルバー向け大会開催等(海辺のウォーキング、小山のトレッキング、海鳥ウォーキング、俳句碑・書家碑めぐり等)

趣味・知的好奇心を満たす体験プログラムメニュー創出(観光ビューロー、事業者、市民、行政等)

- 趣味満喫(フォトラリー、写真コンテスト、カメラ教室、俳句コンテスト、フラダンス・ヨガ・太極拳、釣り等)
- 知的好奇心満喫(伊良湖水道からの船鑑賞・解説、渥美半島の地質・歴史・地形、田原の歴史文化めぐり、渥美の花・鳥・虫観察ガイド、工場見学、エネルギー施設見学等)

ヘルシー・保養派シルバー向け体験プログラムメニュー創出(観光ビューロー、事業者、行政等)

- 花の観賞・花狩り・花摘み体験、野菜狩り体験、野菜づくり耕作体験(貸農園)等
- ご当地地産地消健康メニュー体験(ベジエール渥美推薦のメニュー提供等)

各種体験プログラムの着地型旅行商品づくり(観光ビューロー、旅行会社等)



PLAN 2 長期滞在型旅行商品“ゆるリゾート渥美半島”プランの開発

実施年度
H28年度～

アクションプラン①を活用した数日間滞在できる長期滞在型旅行商品を開発します。

長期滞在旅行プランの開発(宿泊施設、観光ビューロー、旅行会社等)

- 長期滞在時に提供できるプログラムの開発(季節別プランの提案)
- 地域や施設の協力体制の確立 ● 貸し農園の提供等

宿泊施設の連泊プラン開発(宿泊施設、観光ビューロー、旅行会社等)

- 上記プログラムと合わせた連泊プランの企画開発

長期滞在型旅行プランの情報発信・連携体制(観光ビューロー、宿泊施設等)

- “ゆるリゾート渥美半島”のイメージ情報発信
- 具体的旅行商品開発の働きかけ、市内施設等の連携体制づくり



PLAN 3 誰もが観光しやすいユニバーサル観光の推進

実施年度
H28年度～

主にシルバーマーケット層が観光しやすい環境を整備します。

主な観光地のバリアフリー化の推進(行政、事業者等)

- 主な交通拠点・観光地でのバリアフリー化の推進(調査及び実施)
- 公衆トイレにおける多目的トイレの設置

二次交通・移動サービスの充実(行政、事業者等)

- 観光タクシー、レンタカー、レンタサイクル、貸し車いす等

シルバーマーケット層がわかりやすい情報ツールの作成(観光ビューロー、行政等)

- マップやパンフレットなど文字の大きさ、デザインなどシルバー層向け情報ツールの作成



3

新たな視点に立った
観光資源の発掘・開発・創造に
よる観光魅力度の向上

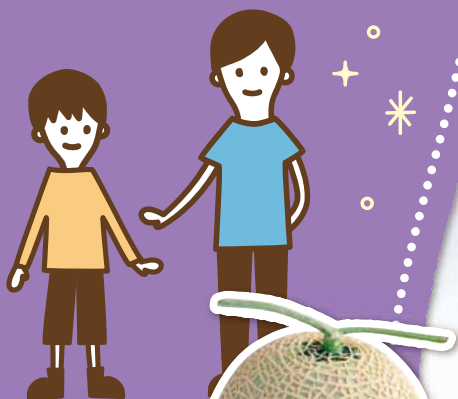
5

学習観光・ 視察観光の 推進

*
。

知って・学んで・ためになる

「学べる 渥美半島」で 視察・学習 観光誘致



? ?

なぜ田原が学習観光・ 視察観光に取り組むのか

全国でも有数規模のメガソーラー施設や風力発電施設の存在、「たはらガーデンシティ」への取り組みなど、全国一の持続可能都市の評価を得た田原市は、全国の自治体や市議会などの視察の対象と十分になりうる素材を持っています。農業生産日本一あるいは、臨海部の工場見学も合わせれば様々な視察を受け入れる可能性があります。また、同様のテーマで周辺の小中学校などの総合学習、社会見学を受け入れる素材も揃っており、これらの素材を活かした学習観光を受け入れる可能性を秘めています。



田原に学習観光・ 視察観光客が増えたら

視察観光は遠方からの来訪が多く、宿泊を伴う旅行が大半です。宿泊を田原市内へ誘導することにより、視察だけではもたらされない消費効果が期待できます。学習観光においては、小さい頃に田原を知ってもらうことにより、大人になってからの再来訪にも期待されます。



田原に学習観光・ 視察観光客を増やすには

田原での学習観光・視察観光客を増やすためには、視察可能な対象施設の情報を整理し、コーディネートできる体制を充実することが必要です。また、小学生に対しては、体験プログラムの充実や、昼食・休憩場所の受入環境の情報整理も必要です。それらをもって、全国の自治体や市議会、周辺地域の学校などへのPRを展開することが求められます。



学習観光・視察観光客を増やすために…



市民一人ひとりができるアクション

- 体験プログラムにおける指導などのボランティア参加。
- 視察者、子どもたちとのふれあい・交流への協力。農家民泊施設としての協力。



田原市アクションプラン

PLAN 1

視察受入メニューの整備 (視察対応施設・機関等の整理)

実施年度
H27年度～

視察団体の受入を可能とする施設、機関等を整理し、田原での視察メニューを構築します。

新エネルギー関連施設、企業等の情報整理 (行政、観光ビューロー 等)

- 新エネルギー関連施設 (メガソーラー、風力発電等) の情報整理
- 訪問可能な条件、説明対応、期間、時間、対応可能内容等の情報のリストを作成、マップの作成

企業の工場見学の情報整理 (行政、観光ビューロー 等)

- 市内民間企業の見学対応状況の整理

その他、田原の“学べる”視察対象施設、機関等の情報整理 (行政、観光ビューロー 等)

- 伊勢湾海上センター (伊良湖水道航路からの船鑑賞) ● 農業の先端的取り組み ● 菜の花プロジェクト 等

目的別、半日コース、1日コースなどの
モデルプランの作成



PLAN 2

学習観光受入メニュー・体験プログラムの整備

実施年度
H27年度～

学校団体 (主に小中学校)、子ども会・各種子ども団体向けのメニューを構築します。

既存施設における学習観光受入メニューの整理 (行政、観光ビューロー、事業者 (施設) 等)

- サンテバルクたはら、シェルマ吉胡、田原まつり会館などでの受入メニューの整理と拡充
- アクションプラン①の企業系・エネルギー系の子ども向け見学アイテムの整理

体験プログラムの整理と充実
(観光ビューロー、事業者、市民、行政 等)

- サーフィン教室など、各地での体験教室の開催
- 農業体験 (畑づくりから収穫まで)、
花摘み体験、漁業体験 (地引網等)、等の体験可能状況の整理

目的別、半日コース、1日コースなどのモデルプランの作成

海浜留学・こども大学 (長期学習体験プログラム) の提供



PLAN 3

観光と連携した総合的なプログラムづくり

実施年度
H28年度～

学習観光、視察観光を地域の潤いに結びつけるための滞在プログラムを作成します。

視察受入時の田原市内周遊のトータルな提案 (観光ビューロー、事業者 等)

- 視察の問い合わせに対しての、宿泊、食事、観光、買い物も含めたトータルな提案を実施 ● 公共交通機関での来訪者に対しての2次交通 (送迎) の検討

大人の社会見学旅行商品づくり (観光ビューロー、旅行会社 等)

- 大人の知的好奇心を満たす旅行商品を企画

学習観光への宿泊対応検討

宿泊事業者の連携、分泊などの協力関係構築)

PLAN 4

受入推進体制・コーディネート力の強化とPR活動

実施年度
H28年度～

情報提供から申し込み、受入まで一貫した受入体制を構築しコーディネート力を強化します。

田原市内での学習観光、視察先の情報提供 (観光ビューロー 等)

- 上記の情報を整理したうえで、Webサイト、パンフレット等を作成し情報発信

コーディネート力の強化

- 問合せに対して、目的や希望に応じたコーディネートを実施 (モデルプランの活用等)

学べる田原のPR (ビューロー 等)

中部～関西～関東エリアまでの自治体、議会事務局などへ視察先としてのPR (DM発送等)



4

新たな観光 マーケットを意識 した情報発信・PR

インバウンド(訪日外国人誘致) への対応強化

田原にインバウンド 観光客が増えたら

外国人観光客の来訪時期は、日本人の観光シーズンのピークと必ずしも一致することはない、田原観光のオフシーズン対策にもつながります。それによって田原市全体の宿泊者数の底上げにつながることに期待されます。また外国人観光客は消費活動が盛んであり、田原でも観光消費額の増加に期待されます。



インバウンド観光客を増やすために…



田原市アクションプラン

PLAN 1

渥美半島インバウンド誘客ネットワーク (観光ビューロー、行政、事業者等)

実施年度
H27年度～



今後重要が見込まれる外国人マーケットに対し、具体的なプランによる積極的な誘致活動を展開します。

渥美半島インバウンド誘致ネットワーク

外国人に訴求力のある渥美半島の観光資源

- 観光旅行向け
菜の花まつり、いちご狩り、メロン狩り、朝日・夕日、雄大な太平洋、伊勢湾フェリー(クルージング)、工場見学
- 視察・研修向け
農業・園芸日本一、環境・エネルギー、工場見学

想定メインマーケット

東アジア・東南アジア団体観光・個人観光

- 中国 ●台湾 ●香港 ○韓国 ○タイ ○マレーシア ○インドネシア
- ※1月中旬～2月上旬の春節(中華系の旧正月)が最も狙い目。菜の花まつり+いちご狩り

韓国・中国視察研修団体

- 韓国(これまでの連携、PRを継続活用) ○中国からの研修団体

田原でのオンリーワンプラン

新たなテーマ(例)	対象国・時期	主な取り組み内容
菜の花ウエディングプラン	台湾・香港の個人客 (1～3月)	・菜の花結婚式の演出(宿泊施設等) ・菜の花プレゼント等 ・いちご狩り、どんぶり街道との組合せ ・伊勢志摩、中部国際空港、伊勢湾フェリーとの連携
サイクルツーリズムプラン	台湾の個人客 (春・夏・秋)	・サイクルツーリズムを進めている浜松、志摩との連携による広域展開(広域サイクリングマップ等) ・鉄道、フェリーと運動した周遊バスの発行(検討) ・レンタサイクルの充実・イベントへの外国人参加受入
ムスリムフレンドリープラン	マレーシア・インドネシア (1～3月、4～5月)	・ムスリムの受入環境についての研修開催 ・食事対応、礼拝対応の受入環境整備 ・野菜と魚のムスリム向け料理メニュー開発 ・ムスリム対応先進地(高山、鳥羽、中部国際空港等)との連携による広域周遊プラン

なぜ田原がインバウンドに 取り組むのか

平成26年の訪日外国人旅客数は過去最高の1,341万人に達しました。国は平成27年の目標を1,500万人、そして平成32年までに2,000万人を目指しており、訪日外国人誘致を核とする積極的な「観光立国」政策が進められています。中部北陸広域で展開される昇龍道プロジェクト、そして愛知県も「あいち観光元年」を宣言し、インバウンド誘致の具体的なプランが展開されていきます。人口減少時代に突入したわが国において、インバウンドマーケットは今後も伸びが十分に期待できることから積極的にインバウンド誘致を進めます。



田原にインバウンド 観光客を増やすには



インバウンド観光推進の基本は、プロモーション活動と受入環境整備が両輪となります。ただし、国内各地でインバウンド誘致が展開されるなか、国別の嗜好に合ったオンリーワンの魅力、あるいは田原ならではの魅力を創出していく必要があります。そして田原で完結することではなく、外国人のインからアウトまでを含めた広域ルートの魅力を提案していくことが重要になってきます。



観光客にやさしい・おもてなしのある受け入れ体制づくり

なぜ田原がおもてなしのある受け入れ体制づくりに取り組むのか

観光地の継続的な発展においては、リピーターの確保が重要な鍵となります。一度、田原市に来ていただいた観光客が市内での観光に満足を得られなければ、再びここに来てもらえる可能性は低くなります。観光客にやさしく、おもてなしのあるまちにすることによってリピーターの確保を目指します。

受入体制づくりのために…



市民一人ひとりができるアクション

- 市内環境美化活動へのボランティア参加。自主的美化活動の実施。
- 観光客への「あいさつ」運動。



田原市アクションプラン

PLAN 1 観光地の美化推進

実施年度 H27年度～

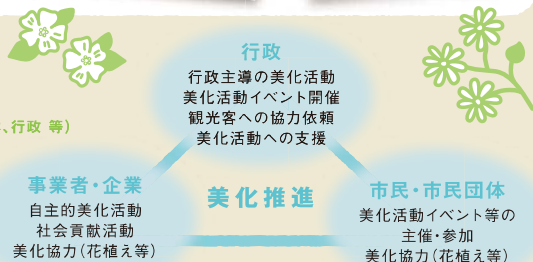
田原市を訪れた観光客が快適に観光し、再び田原に来ていただくために美化を推進します。

海・山の自然環境美化推進～漂着物、雑草、ゴミ等(事業者、企業、市民、市民団体、行政等)

一部の農地等における問題となる異臭への改善指導(行政等)

沿道の美化活動実践～草刈り、ごみ拾い等(市民、事業者、行政等)

ごみ拾いイベント、ボランティア清掃ツアーの開催等



PLAN 2 観光地看板調査及び整備

実施年度 H27年度～

市内の観光地看板及び誘導サインなどの調査を実施し、景観面においては田原市景観計画との整合を図りながら、改善、整備します。

市内観光地看板の調査(行政等)

- 市内観光マップ内容の調査(最新情報の掲載、情報の誤り、外国語表記等)
- 市内誘導サインの調査(適格な位置、適格な内容、見やすさ等)
- 各施設における歓迎看板・注意看板等の調査(おもてなし度、表現、デザイン等)

調査を踏まえた改善・整備(行政、事業者等)

- 改善が必要な看板の整備(多言語化、誤表記の修正、デザイン改善等)
- 新設が必要な看板の整備(新規で必要な箇所への整備)

市内全域での統一デザイン、統一マーク、表記方法等の整理・検討

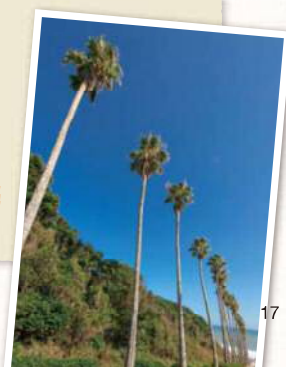
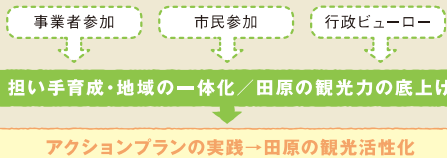
PLAN 3 観光おもてなし大学の実施(観光担い手人材育成) ※P4の再掲

実施年度 H27年度～

田原市の観光人材の育成を目的とする研修事業「観光おもてなし大学」(仮称)を実施します。

田原市観光おもてなし大学(主催:行政 参加:事業者、市民)

- 講師を招いての研修・ワークショップ
 - 《主なテーマ(例)》年6回程度 ・観光のトレンドと先進事例
 - ・着地型旅行商品とは ・レポートを掴むおもてなしとは
 - ・インバウンド観光の受入と取り組みについて 等

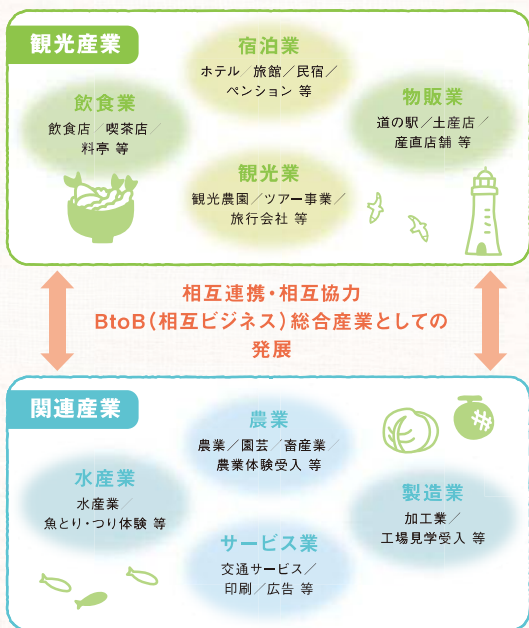


6

観光産業振興から総合産業振興への展開による地域活性化・雇用促進



観光産業の総合産業化(行政、ビューロー、事業者、商工会等)

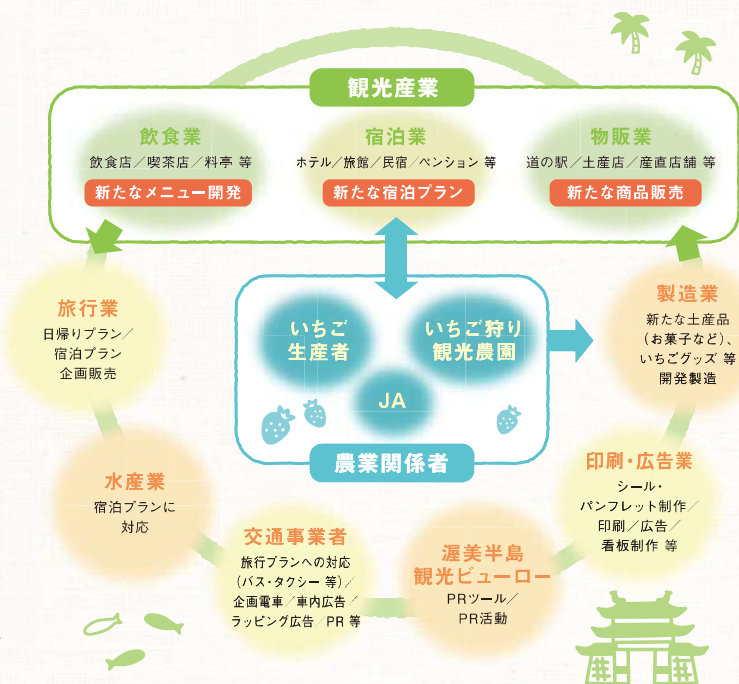


観光産業振興から総合産業振興へ

観光振興は、直接観光客を受け入れる観光関連産業のみならず、農水産業、製造業、サービス業まで含めた総合産業ともとえられる裾野の広い産業です。特に、農業、水産業、製造業が主力産業でもある田原市においては、これらの産業との深い相互関係が存在するとともに、相互協力なしでは田原市の観光振興はありえないと言っても過言ではありません。今後、観光基本計画のアクションプランを推進するにあたっては、観光産業振興のみならず、地域の総合産業の発展という位置づけにおいて、各産業と連携をとりながら推進し、地域全体に経済効果が広がる施策を展開します。

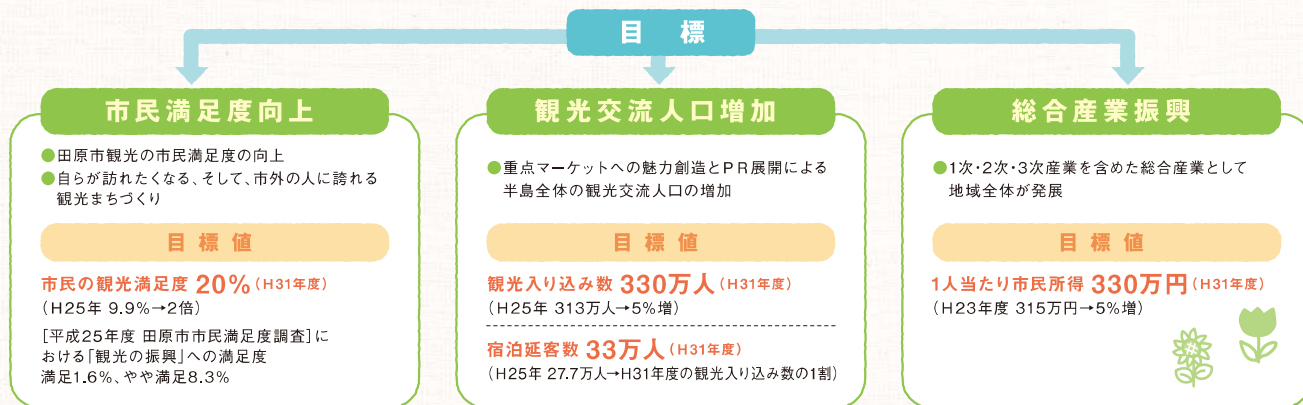
(例)

「渥美半島いちごスイーツ街道」を展開した場合の総合産業イメージ



田原市の観光がめざすもの [改定]田原市観光基本計画の目標

ここに掲げたアクションプランを実行することにより、[改定]田原市観光基本計画で掲げた目標の達成を目指します。そして、毎年、アクションプランの実施状況のPDCAを繰り返し、確実に目標を達成できるような各種プランを実践します。



観光客増による地域活性化

「訪れてよし」を通じた「住んでよし」への定住促進

田原市の 観光振興により描かれる 将来の絵姿

田原の魅力を磨き上げ、田原の魅力をPR

田原を訪れる人たちをおもてなし、“幸福”を提供する

渥美半島全体で一体となって取り組み
観光客が増加することで地域が潤い、雇用が生まれる
そして田原で暮らす人たちにも“幸福”がもたらされる

田原の地域も人も元気に

みんなが幸福を実現できる町
「訪れたい町」から「住みたい町」へ

これが、田原の観光振興が描く将来の絵姿です



田原市では、ご当地キャラクターのキャベゾウとかいくんを
「渥美半島☆観光大使」として任命しました。

がんばるね
!!

渥美半島☆観光大使
もりあげ隊長
キャベゾウ



応援
よろしくね
!!

渥美半島☆観光大使
おもてなし隊長
かいくん



【改定】田原市観光基本計画アクションプラン

田原市 商工観光課

〒441-3492 愛知県田原市田原町南番場30-1 ☎0531-23-3522
e-mail:syoko@city.tahara.aichi.jp HP:http://www.city.tahara.aichi.jp

渥美半島観光ビューローHP:http://www.taharakankou.gr.jp

平成27年3月作成